

質 問



新井田 昭 男 議員

問 重大事故 防災行政無線をなぜ活用しない

答 住民目線に立った放送を考える —— 町長

質 問 ことし3月の定例会でも、防災行政無線の活用について質問をしましたが、その後の活用状況を見ても大きな変化が感じられません。

ことしも、防災行政無線で報じられない重大事故や住民の命に関わることなどがありました。ヒグマ情報やJR江差線の脱線事故、信号機故障による運行ストップなど、これらのことがなぜ放送されないのか。

行政として今後、住民の皆様に安全・安心を含めた適切な情報提供サービスをどのように図っていくのか見解を伺います。
大森町長 熊については、出没した時点で現地確認を終了した後に放送を流しています。

脱線事故や信号機故障については、JR北海道から当町に対し、事故等に関する報告がないため、町内で起こっている事故はマスコミ報道で知ることがあることが現状です。町でわかった時には既に報道されていますので、防災行政無線の活用はしていません。

また、同時にJR北海道青函トンネル工務区に



町民からは、防災行政無線を活用した適切な情報提供が求められています
釜谷・泉沢地区を対象に行われた防災訓練（11/14）

対し、復旧の目処や事故の状態について照会をしています。が、「検討中あるいは調査中」という返答であり、住民の皆様へお知らせする状況にはありません。報道機関に対する発表はあるようですが、当町は報道機関ではないことから情報を把握するには一定の限界を感じているところです。

住民生活に重大な影響を及ぼす案件や安全・安心を脅かす事案等については今後、その内容の情報収集に努め、放送を行うことで不安や疑問が生じないようお知らせすることにしています。放送を流すことは事後でも可能であり、もともと住民目線に立った情報提供に努めたいと考えています。

緊急時を含め、器具に不具合がないか確認しながら、防災行政無線が安定して放送できるようにしていきたいと思っております。

**雪捨て場の空き地利用
その後の対応は**

質 問 当町では、ここ数年大変な豪雪が続いており、ことしも豪雪になり得る予報としています。行政として、少子高齢化や地域事情を考慮した中で、雪捨て場として各地の空き地や町有地の利用を検討できないか、前向きな見解を伺います。

また、前回は、「各町内会や自治会と協議した中で」という答弁をしていますが、その後の経過について伺います。

大森町長 空き地を有効利用できるのが理想ですが、それぞれの土地所有者の協力が前提となるため、現状では全ての民有地の活用は難しい面があると考えています。

個々の皆様からの道路除雪相談等には対応しましたが、町内会単位での相談は特にありませんでした。

除排雪等の相談には、その都度状況を把握し、町内会等と協議を行い、公平性の欠くことのないよう注意を図りながら対応していきたいと考えています。